



# たろはな

一般社団法人  
日本ボーイスカウト  
静岡県連盟  
〒420-0083  
静岡市葵区山崎1-70-1  
（静岡県少年会館内）



静岡 Mount Fuji 中継プロジェクト ご来光!(4頁)



静岡第14団 手旗信号(8頁)



伊豆地区カヌー&ポート(6頁)



磐田第3団 溪流登り(10頁)

## CONTENTS

Scouting Never Stops! ..... 2 静岡県連盟理事長 村松 武博氏	カブつうしん ..... 11
大集会のスタートは静岡のファンファーレ隊 ..... 3	ボーイ通信 ..... 11
大成功!静岡Mount Fuji中継プロジェクト ..... 4	指導者だより ..... 12
静岡第13隊 ジャンポリーサマー2022 ..... 5	RCJ中部ブロックイベント ..... 14
史上最高のキャンプ 伊豆地区 ..... 6	「1級スカウト章」受章者 ..... 14
5泊6日のキャンプ 静岡第14団 ボーイ隊 ..... 8	「友情章」おめでとう18名の仲間 ..... 14
18NSJ-TSが消えた後 清水第17団 ..... 9	組織活性化戦略セミナー ..... 15
我が青春の「太田山野営場」 ..... 10	マスコミコーナー ..... 15
ビーバーだより ..... 11	お知らせコーナー ..... 16

# Scouting Never Stops!

ボーイスカウト静岡県連盟 理事長 村松 武博



第18回日本スカウトジャンボリーは、当初全国からスカウトが東京に集まって開催されることになっていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、スカウトの安全を確保するため、全国各地で分散して開催することとされました。静岡県連盟においては、「三島市立箱根の里」で8月6日から11日までの5泊6日で開催することとしました。

箱根の里でのジャンボリーの準備組織を立ち上げ、組織の役割分担、開催までのスケジュールを決め、会場のレイアウト、プログラム、食料の調達、人員や物資の輸送など、1年以上にわたり様々な分野での準備を重ねました。

ところが、7月に入って全国でも県内でも、コロナの新規感染者の数が拡大し、とても心配な状況になりました。

常任理事会で、ジャンボリー開催の可否を検討し、理事会メンバーにも意見を伺いました。

ウイズコロナで行こう、万全の対策のうえ開催しよう、といった意見もいただきました。

しかし、600人以上が5泊6日の集団生活を送るということは、感染のリスクが大きく、万が一があることが許されない、参加者の安全を守ることが最優先であるという考えから、やむなく開催を断念することに決定しました。

ジャンボリー参加を楽しみにしていたスカウトの皆さん、ジャンボリー参加によりスカウトの成長を楽しみにしていた保護者の皆さん、いろいろな準備を進めていただいた指導者の皆さん、皆さんの残念さを考えると、本当に申し訳なく思います。

いろいろな事柄を考えて判断をしました。どうかご理解願います。

箱根の里でのジャンボリー中止の後、各地区、各団でそれぞれのジャンボリーを企画、実施していただきました。

日本一プログラムも、そこで実施されたようです。

一つの困難の次に新しいチャレンジに取り組む、みなさんの前向きなパワーをとてもうれしく思います。

コロナによるジャンボリーの中止を乗り越え、きっと、この夏の良い思い出を作ることができたことでしょう。

常に新しいチャレンジに取り組み、楽しいスカウト活動を続けていきましょう。

# 大集会の スタートは静岡の ファンファーレ隊!

静岡第26団ボーイ隊副長 佐田 宗彦

石川県で行われた前回のジャンボリーからわずか4年でこれだけ世の中が変わる出来事はそうないだろうというくらい生活が一変してしまいました。スカウト活動においても、集会の中止や活動内容の制限も随分長い間ありました。ただ、これほど困難な状況にもかかわらず残ったスカウト達はそれぞれ頑張ってくれていたと思います。特に、学校の部活で吹奏楽部を選んだスカウト達が、部活での知識や経験を生かして、周りのスカウトをサポートし全体のレベルアップの要因にもなっていました。前回よりもジャンボリー期間中に行えた演奏回数や時間は圧倒的に少なかったのですが、演奏自体は彼らを始め全てのスカウトのおかげで良くなっていると思いました。秋以降もまだしばらくは演奏の機会も少なく厳しい状況は続くことになると思うのですが、他のスカウト活動と並行して演奏活動の準備もしっかりと行っていききたいと思います。



オープニング前の総練習



出演者一同

## 僕にとってのトランペット

静岡第26団ボーイ隊トランペット担当

佐塚 雄麻

『ユーマの大冒険』という名前を団委員長から聞いた時、嬉しい気持ちと僕(の名前)でいいのか? という複雑な気持ちでした。僕は楽譜も読めなかったけれどとにかく練習に行く事が楽しかったです。トランペットが上手くなるのは勿論だけど、先輩方の話を聞いたり皆でワイワイしたりするのが楽しみの一つでもありました。そんな中で今回初めてジャンボリーに参加しました。緊張で手が震えるなど不安もありましたが「胸を張って堂々としていればいい」と仲間を送り出されやり遂げることができ、とても大きな達成感を得られました。初めてのジャンボリーは僕にとって忘れることのできない1日となりました。

# 大成功! 静岡Mount Fuji 中継プロジェクト

18NSJ静岡会場 ユース部長 **久原 宗仁**

18NSJ静岡会場の中止を知った7月20日、私に落ち込む暇はなく、「中央会場ジャンボリー大集会が開催されるならば、富士山頂からの中継は静岡県連盟に残された使命である。」と考え、「なんとしても成功する!」という不退転の決意をいただきました。このような状況にあっても地区代表スカウト全員が参加を表明し、予定通り10名のスカウトと3名の指導者により山頂を目指すこととなったのは感謝の至りです。8名が初登山であることや、当日の天候、映像機器の状態など不安要素がいくつもあるなか、杉山広報部長をはじめ、中央会場大集會部、プロモーション部の皆様に支えられ、無事全員が登頂を果たし、映像を大集會に送ることができました。登山は、早歩きと休憩を繰り返すのではなく、ゆっくりでも前に進み続けることが基本です。同様に、スカウティングも歩み続けること。そうすることでスカウト一人ひとりが、それぞれの頂に向かっていきます。この度の貴重な体験から新たなゴールを目指しスカウト達が歩いていくことを望みます。



剣が峰集合写真

清水地区 清水第17回

ベンチャー隊 **梶原 琴美**

私は今回の富士登山で、13人全員が無事に行ってきたことが一番嬉しかったです。足場の悪い富士山で30ℓのリュックを背負って歩くのは大変だったけど、他のベンチャー隊の人達と話しながら歩くことが出来て楽しかったです。女子1人で初対面の人しかいなくて少し不安もあったけど、すぐに話せるようになり嬉しかったです。その後山頂で生中継をやったり、山小屋で1泊したりと、とても充実した貴重な体験を送ることが出来ました。

富士宮地区 富士宮第25回

ベンチャー隊 **佐野 雄一**

地元富士宮に生まれ住んで18年となりますが、富士登山をするのは人生初のことでした。今回の富士登山最大の目的は、富士山頂上から静岡県代表として中継をすること。私の中で、今回の富士登山で最も成長できた点は、からだと心です。スカウトのちかいいにもあるように、『からだを強くし心をすこやかに徳を養います』、このことが大いに達成できました。今後行なっていくボーイスカウト活動でも、ちかいに沿うような行動を多く心がけていきたいです。



山頂集合

# 静岡13隊の ジャンボリー サマー 2022



## 浜松第30団ボーイ隊 奥村 歩実

「班旗建て」で一瞬でも日本一をとることができた。何回も何回も炎天下で挑戦し記録が出た瞬間は忘れない。県全体での開催はできなかったが、下のスカウトに私の伝えたかったことがやっと伝わり、一位もとれてとても充実した夏だった。

## 浜松第30団ボーイ隊 土屋 日奈

開催場所の変更などがありましたが、無事ジャンボリーができてとてもうれしかったです。普段交流がない団とジャンボリー等を通して仲良くなることができ、とても楽しかったです。この経験を今後活かしていきたいと思っています。

## 浜松第21団ボーイ隊 大石 功明

班長になってからまだ1年も経ってないけど、初めての日本ジャンボリーで色々大変だったけど楽しく活動ができたと思います。他の団の人とも仲良くなれて良かったです。コロナで5泊6日は中止になったけど、代替キャンプを計画してくれてありがとうございました。楽しかったです。

## 浜松第24団ボーイ隊 山口 萌

私達中3は今までコロナの影響で思うように活動ができませんでしたが、こうしてリーダーの方々とスカウトでボーイ隊として最後の夏を良い形で終わることができて、本当に良かったです。

## 浜松第30団ボーイ隊 川合 健心

今年のジャンボリーはコロナの影響により、私の所属する静岡13隊のみの開催となりました。そんなジャンボリーでしたが心に残った活動はたくさんありました。その中でも何より心に残ったのは班旗立てです。目標にしていた10分よりも3分早い6分59秒で立てられたことです。この記録を立てて自分の技術に自信をもてるようになりました。東京で開催されるジャンボリーが少人数での開催となってしまいましたが、私にとってはかけがえのないジャンボリーになりました。





# 史上最高 ジャンボリー



## 伊豆地区 函南第1団ビーバー隊 隊長 能田 典子

ジャンボリーサマー2022、伊豆2隊参加隊として8月6日から5泊6日を三島市立箱根の里で過ごしました。

日本ジャンボリーがコロナで中止という事を知ったときには愕然としました。スカウトとして参加予定の娘にもすぐに伝える事ができない位ショックでした。気持ちの整理がつかなくてもやもやしていました。私はとても楽しみにしていた事に気が付きました。向かう気持ちは同じだったのででしょうか。すぐに、ボーイ隊長らの、経験させてあげたい！中止にはしたくない！という強い意思と伊豆地区の皆様の協力体制で短い時間で準備が進み、このキャンプが実現しました。長期キャンプを経験したことのない私の不安と期待のいれ混じった日々が始まりました。2度の訓練キャンプで子どもたちの雰囲気をつかむことは出来ていましたが実際私に何ができるのか悩みました。ボーイ隊の班制教育も頭において望んだつもりでしたが思わず口をだしてしまう場面も…。サイトの中の子どもたちは日々どんどん変わっていきました。そんな成長を間近で感じ皆で生活をして成長していけるキャンプってすごい！と実感しました。場内外のプログラムも充実していました。日本一プログラムではスカウトはもちろん指導者も真剣！スラックラインやボルダリングも本格的で奉仕隊の方々の全面バックアップ！挑戦するスカウト一人ひとりを大人も子どももみんなで応援する気持ちの良い空気で温かい気持ちになりました。場外プログラムにも全員が参加でき贅沢な時間でした。3日目をすぎる頃にははずっと皆とキャンプしたい！という気持ちになっていました。同じ方向に力を合わせて進んで行くことがこんなに心地の良い事だと知りました。こんな風に感じさせてくれた周りの指導者の皆さんやスカウトに感謝の気持ちでいっぱいです。こんな経験たやすくできるものではありませんが、今一緒に活動しているビーバーたちにも経験させてあげたいと思った最高の夏でした。



# のキャンプ! サマー2022 in 伊豆地区



## ジャンボリーとは何か?

伊豆地区 大仁第1団やまねこ班 班長 石見 優縁

第2回伊豆地区訓練キャンプ前日、私に突きつけられたあの言葉「日本ジャンボリー、中止だって」。これは私があることを考えるきっかけとなりました。ジャンボリーとは何なのか。「初めての長期キャンプ」が一番最初の答えです。確かにそうですが、何か足りない。「自分を変える初めての長期キャンプ」という2つ目。いや違う、まだ足りない。伊豆地区のみでの開催が決定し、こうして考えるうちに当日になりました。本当にジャンボリーとは何なのか。5泊6日仲間たちと過ごすうちに、考えに変化が起きました。『私の人生を大きく変える、最高を超える初めての長期キャンプ』これが、私のファイナルアンサーです。日本全国の親愛なる仲間たちに聞きます。「君にとってのジャンボリーとは何だろう?」。



## ジャンボリーサマー伊豆2022振り返り

伊豆地区 大仁第1団 ベンチャー隊 土屋 未来

僕はこのジャンボリーを振り返って、2泊3日という短い時間でしたが貴重な体験をさせてもらいました。パイオニアリングでは信号塔をつくりました。木がとても太くて持ち運びやロープで結んだりするのがとても大変でしたが、他団のベンチャー隊と協力して完成させることができました。大会4日目はベンチャー隊は僕1人でしたがチェーンソーを使わせていただきました。最初ものすごく怖くて手にとても振動が伝わりました。林業している人はとても大変だと感じました。しかし、木を切り倒す頃には初めよりも少し慣



れてきたのでうまくできました。間伐の意味を知りとても良い体験でした。おかげでパイオニアリング章と森林愛護章の2つの技能章を取得することができました。このような経験ができたのは送り出してくれた保護者や指導者である隊長、仲間たちのおかげです。本当にありがとうございます。楽しいジャンボリーをありがとう。





## 御前崎で合同キャンプ

静岡第14団 ボーイ隊 隊長 **寺田 万友**

静岡第7団・静岡第14団合同で5泊6日のジャンボリーサマー2022を行いました。参加者のほとんどが経験の乏しい小6で構成されていたので、真夏の長期キャンプは体力的にも技術的にも大変でした。

日本一プログラムにも挑戦しました。手旗の練習では、メキメキと上達したことに驚かされました。どうしたらうまくリレーできるか、何度も班会議をして改善を重ねていく姿をみて、ボーイスカウトらしさを感じました。

## 一番実感したことは「変化」

静岡第14団 ボーイ隊 **大塚 堆希**

僕が今回のキャンプで一番実感したことは「変化」です。

天気は雨が降ったり、風が吹いたり、暑くなったり、肌寒くなったりしました。疲れが溜まり作業のペースが遅れてしまうスカウトが出てしまうこともありました。キャンプサイト内では、タープのポールが倒れたり、薪が湿ったり、壊れた物が出たりしました。

僕はこのキャンプを通じて、「変化」にどう対応するかを考え、やってみることがキャンプ

の醍醐味だと思いました。良かったことも、あまり良くなかったこともあったけど、自分にとってはいい経験となったキャンプでした。

## 初めての5泊6日キャンプ!

静岡第14団 ボーイ隊 **中林 夕結**

初めての5泊6日のキャンプ、不安な気持ちでしたが、始まるとワクワクが沢山ありました。

日本一プログラムの火おこしはマッチ担当で緊張しました。あと少しのところで負けてしまったけれど、班旗立ては皆声をかけあい心をついに!手旗信号では練習の改善点を皆で考え工夫し今までで一番早く達成出来ました。

事前の訓練キャンプは仲間が少なく苦しかったけれど、ジャンボリーは皆で参加できて心強く嬉しかったです。初めての長いキャンプや、暑さでバテてる人がいたり、大変なことも多かったけれど皆と過ごした5泊6日はあつという間で、ジャンボリーに参加して良かったです。とにかく一番の感じたことは仲間って素晴らしい!

これからも皆でチャレンジしていきたいです。そして県大会の中止が決まった日から、短い期間に準備をしてくれたリーダーには感謝の気持ちでいっぱいです。



# 18NSJ-TSが 消えた後

清水第17回ボーイ隊 隊長 山崎 敏弘

今年は第18回日本スカウトジャンボリーの開催年です。日本連盟発足から100年目の記念すべき大会でした。しかしながら、コロナウイルス拡大防止のため、本来東京で開催されるべき大会が分散開催となり、さらに感染拡大となり、あえなく静岡大会も中止となりました。

初めての大きな大会に臨む意気込みで、ジャンボリーを楽しみにしていたスカウトたちは、キャンプが無くなったことで意気消沈したようです。しかしながら、箱根の里を開催場所にした伊豆地区のジャンボリーサマーに合流するつもりでしたが、引率指導者である私が濃厚接触者となり、そちらの参加もあえなく断念。スカウトはあきらめの状態でした。そして、班長から代替えキャンプの催促。進級科目の中に連続5泊以上のキャンプとあります。ジャンボリーが無くなったことにより、自団で代替えキャンプをしなければなりません。自団で5泊以上のキャンプはなかなか難しく、実現の見通しが立ちません。また夏休みが終了しては、スカウトたちの予定も組めません。なかなか長期キャンプは難しいです。

その代わりとして2泊3日の隊キャンプを急遽実施しました。いつもより一日長いですが、一泊二日のキャンプだと設営・炊事に追われ、落ち着いて技能訓練や、プログラムの展開が出来ないところ、二日目は余裕のある訓練が出来ました。日程に余裕があるということはスカウト自身にも余裕ができることになり、自分で考えることが出来るようになります。そして自分に自信が持てるようになります。キャンプ終了後には班長以下自信に満ちた顔つきになっていたように感じたのは私だけでしょうか？今回のキャンプは最終日に大雨に遭遇し、とてもいい経験が出来ました。その晩からは大型の台風が日本列島を襲いました。



# 我が青春の 「太田山野営場」

磐田第3団 ボーイ隊  
2泊3日の夏季キャンプ



## 磐田3団BS隊長 熊谷 正和

8月13日～15日浜松市「太田山野営場」で磐田第3団ボーイ隊夏期キャンプを2泊3日で実施。本来、BS隊は3泊以上の野営を行っていますが、今年はジャンボリーも開催予定でしたので2泊3日と設定しています。なにより自分がシニアスカウト(現在のベンチャー)時代に、磐田市見付から自転車でいった記憶もあり、また数々の研修を受けた場所でもあります。この場所で野営が出来ることに感謝しております。たまたま機会がなく、わたしがボーイ隊 隊長になってからは初めての場所。「森の深く谷あい、すばらしいキャンプ」の歌詞のとおり、素晴らしい野営場です。わたしは様々なキャンプ場の中でも、ここが大好きです。まだの方は、是非とも一度訪れると良いと思います。さて、キャンプ内容ですが、初日設営、2日目、沢登り・大営火、3日目、撤営といった内容でしたが、初日、集合時は台風の影響により悪天候、設営は2時間遅れ、テントサイトの状況も3日間ドロドロの状況でしたが、スカウトたちは元気に活動してくれました。中ホール下の沢登りでは、土管の中をヘッドライト着用で入り、最後は自分に命綱をつけてロープで上まで上がり楽しそうに活動していました。

当初、浜松第30団カブ隊が1日ずれて13日に撤営予定でしたが、天候により14日のデイに変更。なんと営火の時間が重なることになりましたが、両団とも臨機応変な対応により、無事に活動が出来て良かったです。また今度は是非、長期の野営をしたいです。



## 磐田第3団ボーイ隊 高橋 愛子

太田山は自然がいっぱい。生き物や川の音だけが聞こえた。大雨でぬかるんだ場所での作業は、滑りそうで怖かった。真っ暗な森の夜、炎の灯りは綺麗で心が落ち着いた。仲間と火を囲む大営火。即席のスタンプだってなかなかなるものだ。

ボーイスカウトらしく?少々グダグダするも、それがまた本当に楽しい。炎に照らされた仲間の顔は、笑顔で溢れていた。最終日の撤営は、厳しい装備点検のため帰りが遅れた。拭いても拭いても、取れない汚れに苦戦した。我慢の多い日常から、ほんの少し自由な世界へ。久しぶりに大きな声で歌って笑った。大変なこともあるけれど、やっぱりスカウトキャンプは楽しい!





いつも元気だっ!  
ビーバーだより

けん玉づくり、たのしかったよ

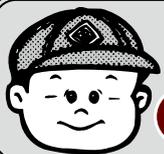
島田地区 吉田第2団ビーバー隊 ほりえ ゆね

「今日のかつどうは、はじめにこうさくで、けん玉をつくります。」わたしは、ふく長のお話を聞いて『やったー!』と思いました。わたしのすきなこうさくだからです。

はじめにかざりつけです。わたしは、ペンでてんもんようを、たくさんつけて、小さなほしのかがやきをイメージしてみました。ほかのたいいんは、人をたくさんかいたり、一色でかっこよくぬったり、シールをすてきにはったりしていました。

つぎは、けん玉のはっぴょう会。一人ずついろいろなわざをはっぴょうしました。わたしは、れんしゅうで小さいところのにせられたのですが、本ぼんではきんちょうしてしまったので、大きいところにかくじつに入れるようにがんばりました。小さいところのにせられたときは、とてもうれしかったです。

つぎのかつどうでも、みんなでたのしくすごしていきたいです。



カブつうしん  
CUB SCOUT

天文台に行きました

御殿場・小山地区 御殿場第2団カブ隊 勝俣 菜月

今日は、月光天文台に日帰りキャンプへ行きました。みんなとほとんど同じ時間につきました。12時になってからお昼ごはんでおにぎりべんとうとおかずにはういんなあとからあげと肉だんごをたべました。そのあとプラネタリウムを見ました。

プラネタリウムはもしもちきゅうが〇〇だったらでした、たとえばたいようがなかったらなどでした。てんじぶつをみんなとみました。てんじぶつの中にはきょうりゅうのほねやアンモナイトもありました。アンモナイトのか石は、さわることができました。月での自分の体じゅうをはかれるところが



あったのでやってみたら55.3キロでした。さいごに天体ぼうえんきょうで星を観察しました。ひるまだったけど星が見えました。ゆうはんはスパゲッティとサラダをボーイ隊のお兄さんたちがつくってくれました。みんなで食べておいしかったです。

はじめての浜石キャンプ

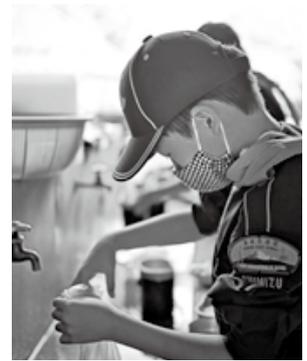
清水地区 清水第7団カブ隊 垣内 俊祐

ぼくは家族でよくキャンプをします。ボーイスカウトのキャンプも家族でやるキャンプと同じように軽く考えていました。しかし、まったくちがうものでした。

初めてはんごうというもので自分の力で米を炊きました。まず、火を起こさなければ何もできません。隊長にマッチの着け方から教わりました。着いた火が消えないように育てるのがむずかしかったです。根気強くやりつけ、ご飯を炊くことができました。達成感があってうれしかったです。

夜、キャンプファイヤーをしました。楽しいゲームやぼくたちの入隊式をやっていただきました。

そして学校以外の友だちができてよかったです。



ボーイ通信  
BOY SCOUT

清水港まつりのパレードに参加しました

清水地区 清水第19団ボーイ隊 林 果歩

3年ぶりに清水みなと祭りが開催されて私は音楽パレードに参加しました。清水みなと祭りは戦後の昭和22年に港・町の復興を願い、清水港の開港日の8月に合わせて始まり、今では静岡市清水区の夏を代表するイベントです。お祭りは3日間で、1日目は音楽パレード、2日目は総おどりで静岡にまつわる踊りをやりました。3日目は海上花火大会で1万発の花火が打ち上がります。音楽パレードでは県警音楽団、一輪車のサークルなどいろいろなチームが参加、私は保育園の演奏団のプラカード役で先頭を歩きました。会場のさつき通りには屋台が多く並び観客がたくさんいて久しぶりのお祭りを楽しんでいるように見えました。

「今から始まります」とアナウンスが聞こえると先頭が

ゆっくりと歩き始めました。ついに始まった緊張のドキドキはおさまらずペースが速くなってしまい、係の人に「もっとゆっくり歩いていいよ」と2回も声をかけられてしまいました。観客にプラカードがよく見えるように高く持って歩き続けました。今までこんなにたくさんの人の前を歩くことがなかったのですごく緊張したけれど楽しかったです。またいろいろなことに挑戦して自信をつけたいと思います。



## 『学びを活かす』

浜松地区 浜松第1回ボーイ隊 天野 泉吹



『第18回日本スカウトジャンボリーの中止』は私に大きな衝撃を与えました。

今まで事前訓練やリモート会議などを通して準備してきたものが、無駄になってしまうのでは、と思ったからです。

手旗信号や班旗立て設営まで、いろいろな訓練をしてきました。だからこそとても悲しかったです。しかし、いろいろなことを考えてみると、すべてが無駄になってしまったわけではない、と思うようになりました。普段、あまり関われない他の団のスカウトとの交流や、自分の苦手としていた手旗の練習は、来年に控える世界ジャンボリーへの自信にもなりました。

今回得た知識や経験は、今後のボーイスカウト活動だけでなく、普段の生活にも活かしていけるものだと思います。今回の活動に向けた経験を忘れず、これからも頑張っていこうと思いました。



## 指導者だより

### リーダー登録して27年

富士宮地区 富士宮第22団ビーバー隊 隊長 若林 智子

リーダー登録して頂き早27年が経過致しました。最初は長男がきっかけで、いつしか制服を着たお母ちゃんリーダーとなっております。この間、何人のお子さんと関わってきたことでしょうか。我が家5人だけでは味わう事のできない様々なお子さんとの関わりが私の人生を豊かなものにしたことは確実であります。親として子育てをしながら成長すると申しますが、私はその子育て以上のものを頂くことができたことに大変感謝いたしております。私の知らない事、今まで体験したこともなかった事。日本ジャンボリーや世界スカウトジャンボリー。そして研修のたびに人としての素晴らしさに憧れてしまう多くのリーダーの皆様。お母ちゃんリーダーとして頂いた事の多くが私のこのボディを作ってくれております。ちょっと成長しすぎですが、・・・

### 久々のキャンプ！ (18NSJ代替活動)

沼駿地区 長泉第2回ボーイ隊 副長 赤坂 善彌

新型コロナの影響で1年延期された18NSJが都道府県ごとの開催となり、さらに静岡県は直前に中止となって、スカウトも指導者も意気消沈。しかし静岡3隊では、何とか代替活動をと、指導者達が知恵を絞り、さまざまな活動を行いました。

唐國派遣隊長が「おうちジャンボリー (オンライン・ソロ野営)」を企画し、綿密なプログラムを作成。スカウト達は家でテントを張り、リモートで朝礼やスカウトOWN、星空観察などに参加。リアルでキャンプをした団もあり、それぞれの野営地をつないでオンライン野営も行われ、福島県の隊との交流も図られました。グーグルClassroomのMeetを使っての活動でしたが、スカウトは学校で使うため慣れていて、指導者の方が悪戦苦闘でした。

本来の静岡会場だった「箱根の里」では、18NSJの期間中に「ジャンボリーサマー伊豆」が実施され、沼駿地区の団も参加。班旗立て、火おこし、ボルダリング、丸太スライス、モンキーブリッジなど、もともと予定されていたプログラムが行われました。県連のFacebookで、楽しそうなスカウトの写真が見られます。

長泉第2団は「おうちジャンボリー」を実施したほか、8月7日に日帰りで箱根の里へ行き、信仰奨励のつどいと、狩野川ボート下りに参加しました。川下りは伊豆地区指導者の運営で、出発時に「今日は思い切り遊ぶぞー!!」と気合いを入れてくれたのが印象的でした。若い指導者が大勢いて、羨ましかったです。スカウト

達は、それこそクタクタになるまで遊んできました。

また当団では、7月にリアルで事前キャンプを行うことができました。1泊だけでしたが、初めて体験するスカウトもあり、全員が顔を合わせての活動は本当に久しぶりで、その後、感染拡大で18NSJが中止になったことなどを考えると、奇蹟のような1泊2日だったと思います。

## 自分&みんなの「f」を探そ

磐田地区 掛川第2団 団委員長 浅井 淳孝

心のどこかで多少の予測はあったとはいえ、実際にコロナ第7波が押し寄せ、18NSJ静岡会場(三島箱根の里)の実施は中止に。開催準備に尽力された方々、楽しみにしていたスカウト達、その心の中はいかばかりかと思えます。

でもジャンボリーは止まりませんでした。期間を短縮して独自にキャンプをやった隊、おうちキャンプとして自宅で活動しながらオンラインで連絡を取り合った隊、BS部門ですから短い準備時間の中でもスカウトたちが意見を出し合い指導者の皆さんと次善の策を検討してそれぞれの活動を計画したのだと思います。

班長を中心とした班会議や班長会議などをベースにして各隊/各自の活動内容を自分たちで考えて実行

に漕ぎつけた活動こそが、もうジャンボリー。実現したキャンプなどの活動は、大人数でのダイナミックな活動ではなかったかもしれませんが、間違いなく「俺たちのジャンボリー」でしょう。

まだまだ思う様な活動ができない状況になる可能性もありますが「何をやるか?ではなくどうやるか?」。みんなで考えながら、スカウトのスカウトによるスカウトのための「f」(=future、friend、faith、family、fun、face、fuji、など)を探していければと思います。



## 久しぶりのキャンプ

掛川2団団委員長 杉山文朗

8月6日～11日島田市相賀の上相賀公会堂にて掛川2団ボーイ隊18NSJを実施しました。

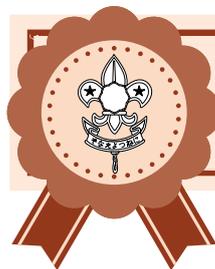
7日は好天に恵まれ、この2年間のびのびしたキャンプを送れなかったストレスを晴らすかのように川遊びに夢中になりました。午後5時からリモートによる日本ジャンボリー大集会を皆で楽しみました。

# RCJ中部 ブロックイベント 2022

実行委員長 山田 夕里

9月3日から4日に渡り、「RCJ中部ブロックイベント2022～Online to Offline～」が開催されました。静岡県内のローバースカウトから、実行委員3名と参加者5名、計8名が参加いたしました。中部ブロック9県連盟のローバースカウトが集まり、様々なプログラムをoViceというオンライン会場を使って実施しました。オンラインから対面の活動に繋げるというテーマのもと、他県の活動を知り、ローバー活動について仲間と話し、実際に活動を企画するところまで、このイベントで行いました。また、ベンチャーが主役の場面があったり、オンライン上でキャンプファイヤーをやってみたりなど、様々な形で交流していただきました。この交流できたこと、新しい仲間と知り合えたことが、一番の成果ではないかと思っております。反省点も残りますが、参加者が、今後の活動へと繋げてくれれば、このイベントは成功なのではないかと思います。

オンラインから対面の活動に繋げるというテーマのもと、他県の活動を知り、ローバー活動について仲間と話し、実際に活動を企画するところまで、このイベントで行いました。また、ベンチャーが主役の場面があったり、オンライン上でキャンプファイヤーをやってみたりなど、様々な形で交流していただきました。この交流できたこと、新しい仲間と知り合えたことが、一番の成果ではないかと思っております。反省点も残りますが、参加者が、今後の活動へと繋げてくれれば、このイベントは成功なのではないかと思います。



## 1級スカウト章受章おめでとう 富士スカウト章に向かってガンバレ!!

- 1級スカウト章は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

地区名	団名	隊	氏名	進級年月日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	海老名 翼	2022年1月12日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	大須賀 泰	2022年1月12日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	鈴木 喜生	2022年1月12日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	手島 侑亮	2022年1月12日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	待井 直哉	2022年1月12日
志太地区	藤枝第7団	ボーイ隊	八木 佐和	2022年1月12日
磐田地区	磐田第6団	ボーイ隊	伊藤 千晴	2022年3月20日
磐田地区	磐田第6団	ボーイ隊	日下部 凜	2022年3月20日
磐田地区	磐田第6団	ボーイ隊	高安 莞名	2022年3月20日



## おめでとう!! 18名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

### 令和4年00月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

氏名	地区	所	属	氏名	地区	所	属
小川 莉子	伊豆	大仁第1団	BVS隊	市川 亮太	富士宮	富士宮第22団	C S隊
竹村 俐玖	伊豆	大仁第1団	BVS隊	末永 啓一郎	清水	興津第1団	C S隊
山崎 智輝	伊豆	大仁第1団	BVS隊	大塚 惟吹	静岡	静岡第14団	BVS隊
山崎 輝輝	伊豆	大仁第1団	BVS隊	杉澤 奏羽	島田	金谷第1団	C S隊
西原 司規	伊豆	大仁第1団	BVS隊	二ノ宮 結翔	島田	金谷第1団	C S隊
川上 凜	沼駿	長泉第2団	BVS隊	園部 鼓太郎	島田	島田第2団	V S隊
西家 琥和太	沼駿	長泉第2団	BVS隊	堀江 優音	島田	吉田第2団	BVS隊
山口 桃果	富士	富士第9団	C S隊	山本 遼	島田	吉田第2団	BVS隊
深澤 佑星	富士	富士第2団	C S隊	高杉 恒瑛	浜松	浜松第12団	C S隊



# 【静岡県連盟主催】 組織活性化戦略セミナー

日時:8月21日(日) 会場:静岡青少年会館

8月21日(日)青少年会館にて組織活性化セミナーが行われました。日本連盟から組織拡充委員会の小川時弘委員、中圓尾正委員、広報委員会から澤朋宏委員長、社会連携小委員会の枝迫雄大委員、特命コミッショナーの森池一夫氏はオンラインで参加されました。講演内容は『全団調査の結果から学ぶ』(森池)、『入隊を考えている保護者に伝えたいポイント!』(中圓)、『スカウトの保護者を活動に巻き込むコツ』(小川)、団のスカウト募集活動の改善案を考えるグループディスカッションを挟んで、「広報に学ぶ」というテーマで枝迫氏と澤氏がスマホでと写真で簡単に魅力的な内容になる情報ページ及びチラシ作りのノウハウについて講演されました。大変示唆に富む内容の講習会でした。



## マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで



令和4年6月25日(土) 熱海新聞 掲載

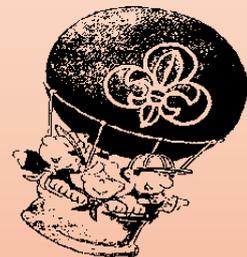


令和4年6月25日(土) 静岡新聞 掲載



令和4年9月14日(水) 静岡新聞 掲載

令和4年7月4日(月) 静岡新聞 掲載



## おしらせコーナー

## 《定型訓練》

ボーイスカウト講習会  
静岡第627回 浜松東

- 日 時:令和4年11月27日(日)
- 場 所:浜松市立青少年の家
- 申込み:11月13日(日)まで  
浜松東指導者養成委員長 大澤 晶 必着

## 《県連定型外訓練》

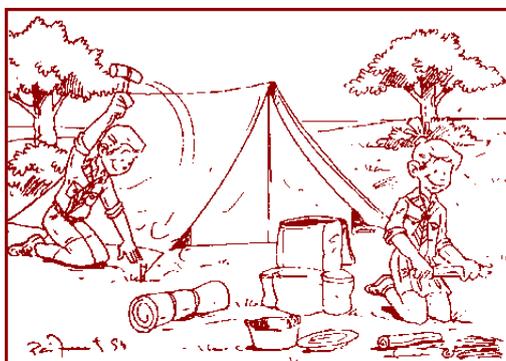
- 日 時:令和4年11月26日(土)  
~27日(日) 1泊2日
- 場 所:国立中央青少年交流の家  
(御殿場市)
- 申込み:10月28日(金)まで  
静岡県連盟事務局 必着

令和4年度  
地区事務長会議

- 日 時:令和4年12月10日(土)
- 場 所:静岡県青少年会館  
令和5年度登録事務・表彰について

令和5年度静岡県連盟  
新年賀詞交歓会

- 日 時:令和5年1月7日(土)
- 場 所:ホテル アソシア静岡  
2階 駿府の間
- 申込み:令和4年12月3日(土)まで  
静岡県連盟事務局 必着



## ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで  
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編集  
日記

18NSJ、自分的には珍しく参加に積極的となりシュラフや食器類を新調し、総務広報委員として取材用の新しいカメラを購入しました。事前に会場の「箱根の里」ほかの撮影ポイント確認にも出かけたものの非情の中止!今回の169号は当然18NSJ特集を予定しておりましたので、この際各地区・隊で自主開催となった18NSJを取材しようと県連で各地区のスケジュールを確認。さすがに富士山登頂と大集会までは現地に行けないので原稿と写真を依頼、結果的に掲載されているボーイ隊キャンプ「それぞれの18NSJ」を取材・写真撮影して参りました。伊豆地区の写真提供頂いた三島第14回の伊藤氏にも感謝!

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2022年10月  
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町1-70-1  
県青少年会館内  
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186  
<http://bs-shizuoka.com>  
編集責任者 総務・広報委員長 松田 茂  
印 刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町30-1 TEL053-467-4678  
発行部数 2,970部